

好きだといま言わなければ
愛してることにならないんだよ。

山田洋次＝原作・監督

山田洋次＝原作・監督

男はつらいよ

最新38作

知床慕情

渥美 清	倍賞千恵子	竹下 景子	下條 正巳	三崎千恵子	太幸 久雄	佐藤蛾次郎	吉岡 秀隆	前田 吟	笠 智衆	すま い	美保 純	淡路 恵子	三船 敏郎	島津 清	小林 俊一	山田 洋次	朝間 義隆	高羽 哲夫	美術 出川 三男	音楽 山本 直純	製作 松竹映像株
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	----------	----------	----------



お友達。外でア女こが待っている。
カワイイ

カワイい

★「入って見なきゃわからない。佳めば都の塀の中!」87年夏『面白エニーク』刑務所ツアーにご招待ノ

俺たち^や翔^{ハヤ}けない天使。

ドラック

ムシヨハ屋礼は同窓生

シヤルを歩けばはぐれ者

★前科13犯・安部直也——藤 竜也

★前科15犯・ドク・西郷

★前科3犯・城山勉
格闘家

★前科13犯・岩崎源吉
なへお

★前科13犯・岩崎源吉になへる

川谷拓三

★ 本人自身 (原作者)

★看守長・鬼熊

★ 看守·蛇哲

★北川保安課長

★ 風見待子
小柳ルミ子

藤 植木 柳葉 森山
童也 敏郎 閻久



裸の中の 懲りない面々

“GUYS WHO NEVER LEARN”

森崎 東監督作品
原作/出演・安部譲二
(文藝春秋刊)

熊見待子・小山柳城・ル新ミ子
安部春代・丹阿弥谷津子
小山忠造・花沢みづみ
北崎源吉・川井重三
蛇哲江・谷三郎
山崎明・川谷三郎
松沢英司・上杉三郎
飯田三郎・森山久
城山勉・柳葉敏
ドク西畑・植木等也
安部直也・藤竜也

◆キャスト

製作：山内啓二
企画：磯田潤一郎
プロデューサー：大塚英次
原作・演出：安部譲二
監督：森田雄
脚本：森田雄
撮影：堀内真
美術：坂本重
録音：小原重
調音：小原重
照明：小原重
編集：沼田和夫
製作担当：沼田和夫

話題沸騰、ユニークなキャストで描く
異色のベストセラー!!
前科14犯のいわゆる「極道」から転じて、今や異色の超売れっ子作家、安部譲二。彼の輝やけるキャリアを、つまり刑務所内で体験した様々なエピソードを、コミカルにつづった同名の自伝的小説の映画化である。
堀の中では自由を奪われて苦役を強いられるはずの懲役たち、ところがここに登場する懲役たちは少しも懲りていない、というのがこのドラマのおかしなところ。こうした一筋縄ではいかない面々の、日常の悲喜こももを出演は主人公に藤竜也。その他、植木等、川谷拓三、なべおさみ、柳葉敏郎、山城新伍、江夏豊、糸井重里、小柳ルミ子。そして安部譲二も堂々の出演。監督は人情喜劇を撮ったのは第一人者の森崎東、脚本は喜劇センスが光る鈴木則文と梶浦政男。哀しくも愛すべき男たちの人情ドラマである。
「入ってみなきゃわからない。」
この夏、劇場は刑務所になる!?
前科13犯の安部直也は入所した刑務所で無類異能、極め付けの個性的な懲役たちに出会った!?。おかげで、毎日が単調なうえに全てが規則正しい刑務所のシステムとは対照的に、快適とはほど遠いが退屈だけはしなかった。シャバでの戦歴に尾緒を付けて自慢する者。出所後の生活設計として、とても信じ難い珍奇なアイデアを大真面目で話す強者。刑期短縮しか頭になく、仲間を看守にチクルセコイ奴。シャバの女を想って身もだえする男。一方のシャバにはそんな男を待つ女がいる。さらに、何かにつけて懲役を挑発して懲罰を付け、刑期延長を企む底意地の悪い看守。そうかと思えば懲役と持ちつ持たれつ、馴れあいの人情家もある。いづれにしても堀の中では、懲役同志または懲役対看守の、善良なる市民には想像もつかない抱腹絶倒の、ほとんど人間動物園みたいな世界が展開する。
堀の中は今日も入る人出る人——、みんな懲りない面々である。

男はつらいよ

山田洋次＝原作・監督

最新38作

知床慕情

◆キャスト
車寅次郎：渥さくら
りん子：倍々
悦子：淡竹
上野順吉：三三
車降造：下三
つね：三三
諏訪：三三
社公：太三
満男：吉三
あけみ：美吉
御前様：笠美
船長：すま

◆スタッフ
製作担当：峰石
編集：石青
照明：青松
録音：鈴木
音楽：鈴木
美術：鈴木
撮影：高朝
脚本：山朝
監督：山朝
原作：山朝
企画：山朝
プロデューサー：山朝

昭和44年8月27日にシリーズ第1作「男はつらいよ」が公開された。以来、日本中の人々に愛され続けて18年、第30作でギネスブック入りした「世界最長の映画シリーズ」の記録を1作1作更新している「寅さん」。1作目からの延べ観客動員数は、6,000万人をゆうに超えている。
むかえて第38作目は、題して「男はつらいよ・知床慕情」。夏の短い北海道は知床を舞台に、寅次郎と獣医の娘の恋物語が、伸びやかにそしてせつなく描かれる。
寅次郎は初夏の北海道は知床を旅している。通りがかりの獣医・順吉（三船敏郎）のボンコツ車に乗せてもらったことから彼の家に居候するハメになった寅次郎。どうやら順吉は町で唯一の居酒屋「はまなす」のおかみ・悦子（淡路恵子）に惚れている様子。そこへ順吉の美しい娘りん子（竹下景子）が里帰り。彼女に一目惚れの寅次郎は、しばらく知床に居ることに決めた……
今回のマドンナには、第32作「男はつらいよ・口笛を吹く寅次郎」以来の竹下景子が再び登場。しつとりとした演技が期待される。さらに、日本が世界に誇る国際スター三船敏郎。そして20年ぶりの映画出演で張り切る淡路恵子と超豪華なゲストスターが山田作品に初めて登場する。
もちろん寅さんの渥美清、さくらの倍賞千恵子をはじめ、下條正巳、三崎千恵子、太宰久雄、佐藤竜次郎、吉岡秀隆、前田吟、笠智衆、美保純のレギュラー陣が元気に顔を揃えている。
スタッフは、監督・山田洋次、撮影・高羽哲夫を中心に不動の山田組メンバーが、楽しい作品をめざして張り切っている。
ロケは、北海道・知床を中心に行なわれた。

8月15日(土)全国松竹系2本立公開!

●特別ご鑑賞券 一般 ¥1200 (当日一般 ¥1500の処) 学生 ¥1100 (当日学生 ¥1300の処) 絶賛発売中!

地下鉄東銀座駅下車・松竹セントラル横

銀座松竹 (541) 1786